

(第三種郵便物認可)

オープンセミナー開催

寺院退職金制度テーマに

協部 代支 大阪 協部 大北

大阪代協北摂東支部 度。講師は寺サポート (堤充広支部長)は、2月 (TERRA-SUPPORT)

21日、茨木市立男女共生センター・ローズワーム5階502で、支部総会後にオープンセミナーを開催した。テーマは「僧侶だからわかるお寺の経営」生命保険を利用した寺院退職金制



セミナーの様子

谷大学・大学院を卒業。説明した。

30歳から生命保険会社で保険営業マンを13年間経験し、退職後の現在は寺院専門のコンサルタントとして活躍している。

セミナーでは、お寺の住職は一般の会社で言えば経営者にあたるが、経営については関心のない人が多い現状を紹介し、「寺院経営の悩みについて、僧侶同士だからこそ本音を話してもらえ。主に退職金制度の整備の次男として生まれ、得度の後、大谷大学・大学院を卒業。説明した。

セミナー参加者は17名で、会員以外も5名だった。支部会に参加しない会員代理店の募集人から保険会社の営業社員にチラシをもらったと問い合わせがあり、セミナーに参加に結びついた。

同支部では催事への会員参加や会員拡大に積極的に取り組んでいる。今回の総会、セミナーに初めて参加者もあり、一定の成果を得た。その要因として、昨年11月から講師の選定、会場手配、インターネットでのチラシ

シテサインの準備(1月初めにはチラシ500枚の印刷を完了)など準備を早くしたこと、また、保険会社4社へチラシ配布を依頼したり、会員の知り合いにも呼びかけたことが挙げられる。

落合和彦副支部長は、「支部会はいつものメンバーだけ」から少し脱却でき、懇親会の雰囲気も変わり新鮮だった。今後、も代理店にとって魅力がある内容を心がけ、人がたくさん集まる楽しい支部会の開催を目指していきたい」と抱負を述べた。